



支部だより

編集責任者

副支部長

岩本喜信

支部長日記(Ver.2)-87

支部長 河田

稔



1 残暑?お見舞い申し上げます。

残暑でなく、猛暑の連続ですので、暑中見舞いですよね。でも、間もなく、10月の声を聴きます。秋はいつ来るのかな?

さて、G党の私にとっては、日本のプロ野球には、全く興味が湧かなくなり、ひたすら、「翔平くん」(｡ω｡)ノ♡です。朝のBS、夜中の2時頃からのデーゲームも欠かさず見えています。毎試合、全打席、ホームランを打て!と、ヒットでも、「あ、あ〜」と落胆するほどの熱狂、三振するものなら、机を蹴ってます。

唯一、タイガースの優勝で、恩恵を得られたのは、イオンで、4千円のカッターシャツが、半額のセールで、その半額でゲットできたことかな。後は、CSに期待です。

野球以外では、タイで行われたバレーボール女子世界選手権にも熱狂してました。成績は、4位でしたが、圧倒的な体格差をものともせず、拾って、拾って、拾いまくる試合に手に汗を握ってました。特に、リベロの小島満菜美選手、すごかったですね。血圧も上昇したかな?また、点を取った時の彼女らの満面の笑み、コートを飛び跳ねる躍動感、笑顔は、無敵!でした。また、コート内だけでなく、試合前後の彼女らの行動も、現地のタイの人々にも好印象を与えたようです。どこかの国のように不正をしてまで、勝ちにこだわることなく、正々堂々と戦ってこそ、勝敗を超えた感動が得られると思います。4位と少し悔しいですが、よく頑張りました。次は、男子も頑張れ!!

私の押しは、「北窓絢音選手」、「山田二千華選手」ですが、彼女ら全員、おじさんのハートをわしづかみでした。

2 岩田清文元陸幕長の講演を拝聴

8月31日(日)、神戸国際会館で、「憲法改正で国難を乗り越え」(戦争を抑止するために)という講演を聴講しました。岩田元陸幕長らしい非常に熱い論調で、機会があれば、皆さんも是非、聞いていただきたい内容でした。

- ・ 自民は、憲法改正の発議ができたにもかかわらず、逃げた。
- ・ 中国の台湾周辺の作成行動は、演習でなく、台湾統一のためのドレスリハーサルだ。
- ・ 憲法改正、9条2項を撤廃し、集団的自衛権行使を全面的に認めるべき。等々

講演会后、岩田氏と同期の三木相談役が幹事として、同期会拡大版を計画していただき、参加させていただきました。その席でも、ここでは、書けない裏話なども聞くことができましたよ。

3 古希を迎えました。

最後に、私ごとですが、古希を迎えました。若い頃、70歳と言えば「よばよば」というイメージでしたが、実際に、自分がなってみると、気持ちだけは、まだまだ、20代、30代???,言い過ぎです。でも、確実に体力・気力・記憶力・持久力は減退しています。いつまでも元気でいられるように剣道に励みます。

4 連絡事項

隊友会ホームページの県隊友会サイトに「支部だより(7月号、8月号)」を掲載していただきました。これを機に「支部だより」を毎月掲載していただきます。

URL : <https://taiyukai.or.jp/wordpress/>

5 10月予定

- ・ 10月19日(日) 13:00~ アステ川西6階 令和8年新年互礼会打合会議(役員は参加)
- ・ 10月26日(火) AM(千僧駐屯地)、PM(伊丹駐屯地) 人事担当者との懇談

囲碁部

第138回(令和7年度第3回)囲碁大会開催予定

日時 令和7年9月28日(日) 午後1時から

場所 伊丹スワンホール4階第11会議室

参加費 500円

対局時計を使用して、全員4局指しを計画しています。飛び入り歓迎

※ 問い合わせは、平井(090-2010-3820)まで

隊友川柳部

☆ チラ見せは ストリッパーより お上手ね じょうず

☆ 浮かれない 詰めぬかりなく タイガース

☆ この猛暑 抑える一天 いってん にわか雨

☆ 豊漁でも 庶民のサンマ あゝ高嶺 たかね

☆ 人並ぶ 半額シールの お弁当

☆ 砲火の雨 慟哭の子ら われも泣く どうく

☆ 外出時 梅あめ口に 放り込み ほう

☆ くたびれず 二人で歩んだ 米寿越え

○ 参議選 値下げと消費税で 与党負け

○ 結果では 芽を出したのは 少数党とは

○ メルカリの品 孫の売り物すべて 親の物

○ 8月は 懺悔と黙禱 終戦日 ざんげ もくとう

○ 西瓜喰べ おいしさに種を蒔き 小粒顔 ま



(3後衛分会 野手)



(伊丹業分会 平尾)

皆様の投稿をお待ちしております。

TEL・FAX 0797-88-6240 (部長 福田)

訃報

田所 仁章(3師団付隊分会) 令和7年7月27日 83歳 逝去
前号で、忌日とお歳を間違えておりました。大変失礼いたしました。

入会

石塚 敏男(通信群分会)

令和7年8月12日入会

○ 役員用LINE QRコード

理事(新聞手配りの方を含みます)、常任理事、事務局、監事、副支部長、相談役及び参与等の方は、是非、ご登録ください。

○ 会員用LINE QRコード

会員の方は是非、ご登録ください。自衛隊関連行事の参加連絡をいたします。

【役員用】



【会員用】



○ LINE QRコード



(もの好きオヤジの記)

夕焼けシリーズ <シリーズNo.4>

阪神病分会 山崎勝徳

夕焼けの写真を撮るきっかけとなったのは、毎日のように池の辺を散歩することが日課の一部となっている。六甲に太陽が沈みかける頃になると雲が色づき始め太陽と共に色づいた雲が池に映り込む、太陽が山の向こうに姿を消しても空と雲に色はさらに変化をしていく。

そんな情景を眺めながら池の外周を歩くのであるが、池の外周散策の都度、変化していく光景を眺めているとこんな夕景を写真に残しておこうと思ったのである。



(池に映る光景は実際の景色より鮮明に見える)



(空も池も真赤に染まり、歩く人の顔も赤い・)



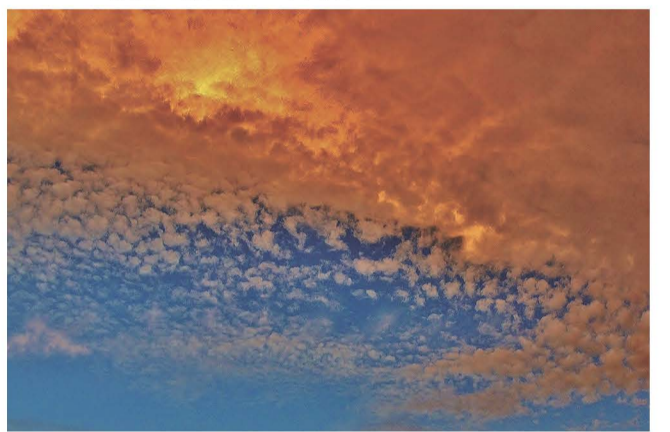
(横たわる観音様、右端頭部「宝塚」から左端須磨の方向) 六甲山系一望



(日没に近い西の空にアニメの天子?・・・)



(宝塚御殿山に沈む太陽、右に高層マンション)



(細かい雲にも色づけされている 不思議)



(見たこともないスケールの幅広い雲の帯)



(天空から落ちてきた一片の雲…誰も拾って行く人はいないだろうな~)



(太陽が沈み30分も経っていると言うのに・・・)

今年の夏の様に猛暑日の続く日には流石に重いカメラなど持ち歩く気にはなれない。

9月を過ぎ10月に入るとあちらこちらでカメラを持った人が増えてくるが、今や高性能のスマホカメラを持ち歩く人が多く、この様なところでスマホを持ち歩くのは最適だろう。こんな時にスマホがあればと思うこともある。この話は息子や孫に聞かれない。話せば「だ・か・ら!!・・・」と言われるに決まっている。

<おわり>

第93号「債務整理(その1)」

3師付分会 水谷秀志

今回から、数回に分けて債務整理についてお届けします。

債務整理とは、借金(債務)の減額や返済猶予、過払い利息の返還などの手続きの総称です。借金を抱えている人のなかには、返済以外の方法で借金を減らすことに非現実的なイメージを持つ方もいるかもしれませんが、債務整理は法律で認められた制度で多くの方が利用しているといわれています。

具体的には、債権者(お金を貸している側)との交渉や、裁判所への申し立てによって借金減額・返済猶予を実現しますが、個人でこれらを行うのは難しいため、弁護士や司法書士に依頼して手続きを代行してもらうのが一般的です。債務整理には任意整理、個人再生、自己破産があります。また、債務整理と関連する手続きに過払い金請求があります。

それぞれに利用条件やメリット・デメリットがあるため、自分の状況に合った債務整理がどれなのか相談するところから始まるケースも多くあります。依頼者側も、事前に各債務整理方法の特徴を簡単に理解しておく、相談がしやすくなるでしょう。

1 債務整理のメリット

(1) 借金の返済が楽になり元本が減る

例えば、任意整理の場合、原則3年間(場合によっては5年間)の分割払いとなり毎月の返済額が減り金銭的に家計への負担が少なくなります。また、自己破産であれば返済義務の免除、個人再生であれば借金が大幅に減額され、借金を抱えていたところに比べると金銭的に余裕のある生活を送ることが出来ます。

(2) 一時的に催促や取り立てをストップできる

債務整理を弁護士に依頼すると債権者に対して委任受領を発送し、取り立てが止まります。

取り立てが止まれば、これまで返済に充てていたお金を債務整理の支払いに充てる事が出来るようになり家計への負担が軽減されます。

2 債務整理のデメリット

債務整理(任意整理・個人再生・自己破産)を行う共通のデメリットは、信用情報機関に事故情報がブラックリストに登録されることです。

また、債務整理により事故情報が登録されるとしても一時的で、登録期間が過ぎれば再びカードを発行したりローンを組んだりできます。登録抹消の目安は約7年後とされています。

3 任意整理とは

任意整理は、債権者(お金を貸している側)と交渉することにより返済額の圧縮や返済期間の猶予(延長)を目指す手続きです。裁判所を通すことなく官報にも掲載されない私的な手続きで法的な条件などはなく直接カード会社と交渉する方法となります。

比較的簡便で短期間に手続きが完了することが多いのが特徴です。周囲にも発覚しにくい、依頼者側の心理的ハードルも低く、債務整理のなかでは最も利用者が多いといわれています。

4 個人再生とは

個人再生は、裁判所に申し立てることにより、元金を含めた借金の全額を大幅に減らすことが出来る手続きで最大で90%の借金を減額できるといわれています。

ローン返済中の家についても、住宅ローン条項を定めることによって、住宅と住宅ローンを除いて個人再生できるため手放さなくて済む可能性があります。一方でローン返済中の車は、引き上げられてしまうかもしれません。

個人再生は裁判所を通すことにより弁護士費用など利用にはいくつかの条件があります。

次号は、「債務整理(その2)」をお送りします。

水谷 不尽